

第13回 情報セキュリティマネージャー ISACAカンファレンス in Tokyo (CISMカンファレンス)

変革する組織のためのセキュリティマネジメント： サイバー脅威とクラウド時代の挑戦

組織を取り巻くITセキュリティリスクは、刻々と変化しています。DXで加速するビジネス環境の変革や、サイバー脅威・クラウドセキュリティの変化に十分に対応できず、課題を抱えている組織も多くあり、情報セキュリティマネージャーの重要性も高まっています。

こうしたリスク変化の大きい分野において最前線で活躍されている有識者をお招きし、知識の獲得、スキルアップを目的にオンラインカンファレンスを開催いたします。

2025年2月15日(土) 13:30-17:15

オンラインライブ開催 (Zoom Webinar)

後日、お申込者向けにオンデマンド動画視聴を提供予定

205分のCPEに相当します (ISACA継続教育 4CPE相当)

主催：ISACA東京支部

後援：ISC2 Japan Chapter、一般社団法人 日本シーサート協議会 (NCA)

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)、特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会 (JASA)

※本カンファレンスは「サイバーセキュリティ月間」関連イベントです：内閣サイバーセキュリティセンター (NISC) 2025年サイバーセキュリティ月間の関連イベント

お申込：<https://cismconf2025.peatix.com>

ISACA東京支部会員 1,500円

後援団体・他ISACA支部会員 2,000円

一般 2,500円

プログラム

13:30-13:35	開会	開会/ISACA東京支部 よりご挨拶	ISACA東京支部 副会長兼理事 岡部 淳一
13:35-14:35	セッション1	経営戦略としてのセキュリティマネジメント NEC Corporate Executive CISO 兼 サイバーセキュリティ戦略統括部長 兼 NECセキュリティ株式会社取締役 淵上 真一 氏	質疑応答(10分)
14:35-14:40			休憩(5分)
14:40-15:40	セッション2	動的リスク管理の時代へ:最新脅威に対応する経営とセキュリティの新戦略	株式会社サイント 代表取締役 岩井 博樹 氏
15:40-15:50			休憩(10分)
15:50-16:10		CISM資格のご紹介	ISACA東京支部 CISM委員会
16:10-17:10	セッション3	クラウドセキュリティの現在	アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 セキュリティアシュアランス本部 本部長 松本 照吾 氏
17:10-17:15	閉会	閉会挨拶/アンケート・CPE説明	ISACA東京支部 CISM委員会

セッション1 (13:35-14:35)

経営戦略としてのセキュリティマネジメント

○ 概要

社会情勢がめまぐるしく変化するなか、DXという名のもとにビジネス環境も大きく変革しています。

そのような背景の中、セキュリティマネジメントはもはや専門部門の課題ではなく、経営課題の一つとなり、セキュリティマネジメントを経営戦略の一部としてとらえる事が求められています。

どのような視点・考え方でセキュリティマネジメントを経営戦略に取り込んでいくのか、求められる取り組みについてお話しします。

○ 講師略歴

ベンチャー系システムインテグレータでのネットワークエンジニアを経て、専門学校グループを運営する学校法人に転職。教員経験を経て、セキュリティ担当の役員として経営に参画。社外では司法、防衛関連のセキュリティトレーニングを手掛ける。2018年よりNEC、NECグループ全社セキュリティ統括を担当。



NEC Corporate Executive CISO
兼 サイバーセキュリティ戦略統括部長
兼 NECセキュリティ株式会社取締役
淵上 真一 氏

セッション2 (14:40-15:40)

動的リスク管理の時代へ： 最新脅威に対応する経営とセキュリティの新戦略

○ 概要

近年、混沌とする国際情勢の中で、脅威アクターは多様化し、攻撃手法も日々高度化しています。国家主体の攻撃から、組織化されたサイバー犯罪、個人の主義主張を目的とするハクティビズムまで、その脅威はグローバル規模で広がり、標的もますます多岐にわたっています。

このような状況下において、従来の「静的」なリスク管理では新たな脅威に対処することは困難であり、定期的なリスク評価や年次レビューなどに頼るだけでは、動的かつ巧妙に変化する攻撃を防ぐことはできません。

本講演では、これら現代の脅威に対応する一案として、リアルタイム性のある脅威分析情報の活用を核とした「動的」なリスク管理の有効性について解説します。

○ 講師略歴

2000年よりラックにて、セキュアサイト構築、監視業務、デジタル・フォレンジックなどの業務に従事。2013年よりデロイト トーマツ リスクサービスにて、技術系のコンサルティング業務や脅威分析を担当。2018年、安全保障を軸とした脅威分析と情報提供を専門とするインテリジェンス・プロバイダー「サイト」を設立。

経済産業省情報セキュリティ対策専門官、千葉県警察サイバーセキュリティ対策テクニカルアドバイザー、情報セキュリティ大学院大学客員研究員などを務める。近著に『ネット世論操作とデジタル影響工作』（共著）などがある。



株式会社サイト
代表取締役 岩井 博樹 氏

セッション3 (16:10-17:10)

クラウドセキュリティの現在

概要

デジタルトランスフォーメーションや生成AIの利活用において、クラウドの理解、クラウドセキュリティの理解が必須のものとなってきました。

セキュリティの観点では、クラウドの利用に不安を感じる利用者がある一方でクラウドの利用によってセキュリティの質的向上を果たしている利用者もいる、という状況であり、利用者の成熟度や理解の差がビジネス格差につながる状況も起きています。

本セッションでは、クラウドがどのようなビジネス価値をもたらすのか、またセキュリティに対する価値やリスクへの対応をどのように考え、実施していくのかを解説いたします。

講師略歴

システムエンジニアとして、認証及びシングルサインオンシステムの構築、運用を経験。

その後、国内セキュリティ事業会社にて、コンサルタントとして、ISMS認証、情報セキュリティ監査等の法人向け情報セキュリティマネジメント業務に従事する傍ら、ISACA東京支部におけるCISA委員会、情報セキュリティ監査協会(JASA)にて、監査に関する普及啓発活動に携わる。

平成27年2月より、アマゾンウェブサービスジャパン株式会社にてクラウドセキュリティコンサルティング業務に従事、現在はクラウドのコンプライアンス業務を担当している。趣味は旅行、ジョギング、三線など。

共著:「AWSではじめるクラウドセキュリティ」



アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
セキュリティアシュアランス本部 本部長
松本 照吾 氏

資料

配布可能な講演資料は、ISACA東京支部ホームページ上で公開しています。

<https://www.isaca.gr.jp/cism/cismconf2025.html>

お知らせ

- セミナー講師、講演タイトル、内容等は、都合により変更させていただく場合がございます、ご了承ください。
- お申込みに際してお伺いしたお名前・メールアドレス等の個人情報は、本カンファレンスの中止や延期の連絡、次回のカンファレンス案内に使用させていただくことがあります。
- Zoomによるオンライン開催となります。参加者の皆様は、パソコン等にZoom 最新版をインストールしておいてください。
- 領収書発行についてはPeatixのWEBページから発行ください。ISACA東京支部及び、CISM員会カンファレンス事務局では個別に発行しておりません。

CPE証明

CPE証明については、セミナーの中でご案内します。
セミナー時間合計205分に対するCPE(ISACA継続教育4CPE相当)の証明書を発行します。

お問い合わせ

cism-conf@isaca.gr.jp (ISACA東京支部CISMカンファレンス担当)

- 本カンファレンスでは、以下の音源を利用いたします：
“Crinoline Dreams”, “Backbay Lounge”, “Bossa Antigua”, “Opportunity Walks” Kevin MacLeod (incompetech.com)
Licensed under Creative Commons: By Attribution 4.0 License
<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>